

第22回世界スカウトジャンボリー（22WSJ）派遣 派遣員募集要項

4年毎に開催される世界スカウトジャンボリーの第22回大会は、2011年にスウェーデン南西部のクリスチンスタード市郊外で開催される。

派遣員は、この大会の期間中、世界スカウト機構（WOSM）に正式加盟している160の国と地域を代表するスカウトと野営生活を共にしながら親善交歓をはかり、地球開発村、ワールドビレッジ、地域社会奉仕、水上プログラム、選択プログラム等の様々なプログラムへの参加を通じて世界友情を築き、あわせて多くの国の参加者との国際交流と国際理解を深めると共に、日本への関心と理解の高揚に努める。

また、2015年には日本で第23回世界スカウトジャンボリーが開催されることから、日本から多くのスカウトと指導者が世界スカウトジャンボリーを経験し、日本での大会に役立てる。

事業名称： 第22回世界スカウトジャンボリー派遣
（22WSJ：22nd World Scout Jamboree）



テーマ： 「シンプル スカウティング」
"Simply Scouting"

派遣期間： 2011年（平成23年）7月26日（火）～8月10日（水）16日間（参加隊）
2011年（平成23年）7月24日（日）～8月11日（木）19日間（IST）
*航空便の事情により1日前後することがある

派遣先： スウェーデン スコーネ県
クリスチンスタード市郊外、リンカビィ地区

派遣人員： スカウト約1080人 隊指導者120人、（30隊・1200人）
（予定） 派遣団本部員30人以内、国際サービスチーム員80人、合計1310人
（派遣人員・参加隊数は、地域性を考慮した隊編成を進めることで調整される）

派遣経費： （1）派遣経費は、平成21年12月現在、次のとおり1人あたり約43万円が見込まれ、今後航空便等の手配、大会参加費送金等の後に確定する。

<1人あたりの派遣期間中の経費： 約34万5千円>

東京・コペンハーゲン往復航空運賃 約20万円
（平成20年7月同時期の東京発着エコノミークラス正規割引航空運賃の場合）
22WSJ参加費6500スウェーデンクローネ（5%割引で約9万3千円）
大会前後の移動・宿泊等（大会前後3日間）約4万円
大会期間中の野営用品（テント・炊具等）約1万2千円

<1人あたりの派遣前後の経費： 約8万5千円>

国内移動・海外旅行傷害保険等 約1万円
派遣支給品 約2万円
出発直前準備訓練・壮行会 約2万円
隊経費（隊別準備訓練を含む） 約2万8千円
諸準備・資料・送料・日本派遣団提供プログラム・業務委託経費等 約7千円

(2) 派遣経費には、服装・備品等に要する経費、派遣期間中の小遣い、準備訓練会場往復交通費等を含まない。これらは、個人の追加負担となる。

(3) 派遣員内定後、参加者負担金のうち1人15万円を所属の県連盟を通じて予納金として平成22年8月20日までに納入する。(詳細は別項参照)

派遣日程：(一例で1日前後する場合がある)

<参加隊・派遣団本部員>

- 平成23年7月24日(日) 分団・隊毎に2泊3日間の出発直前準備訓練を行う
7月25日(月) 分団・隊別準備訓練、結団式、壮行会
7月26日(火) 各出発空港に移動し、空路コペンハーゲンに向かう(一部経由地あり)
7月27日(水) 隊毎に22WSJ会場に移動しチャンピオン(本部員同行)
第22回世界スカウトジャンボリーに参加
8月7日(日) 大会場を退去し、ヨーロッパ各都市に向かう(ISTは8月8日)
8月8日(月) ヨーロッパ各地の見学(ISTは以降1日遅れで同日程)
8月9日(火) 分団・隊毎に空路ヨーロッパ発(一部経由地あり)
8月10日(水) 日本各地に到着し解散(出発と同じ空港)

<国際サービスチーム員(IST)>

- 平成23年7月22日(金) 2泊3日間の出発直前準備訓練を行う
(業務内容により現地に直接集合する場合は、別途現地で訓練を行う)
7月23日(土) 分団・隊別準備訓練、結団式、壮行会
7月24日(日) 各出発空港に移動し、空路コペンハーゲンに向かう(一部経由地あり)
7月25日(月) 22WSJ会場に移動し、ISTトレーニング開始
7月27日(水) 第22回世界スカウトジャンボリーに参加
8月8日(月) 大会場を退去し、ヨーロッパ各都市に向かう
8月9日(火) ヨーロッパ各地の見学
8月10日(水) 空路ヨーロッパ発(一部経由地あり)
8月11日(木) 日本各地に到着し解散(出発と同じ空港)

応募資格： 次の3区分により、それぞれの各項を満たしていること。

(1) 大会参加スカウト(ボーイスカウトおよびベンチャースカウト)

- ① 1993年(平成5年)7月25日から1997年(平成9年)7月27日までに生まれた者
- ② 2009年度(平成21年度)から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点において、ボーイスカウトは1級以上、ベンチャースカウトはベンチャー章(またはボーイ時に1級)以上を取得している者(応募時点でこれを満たせない場合は、2011年(平成23年)3月末日までに条件を満たすこと)
- ④ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、かつ派遣団員としての行動がとれる者

(2) 参加隊指導者

- ① 2011年(平成23年)4月1日現在、満20歳以上の成人指導者
- ② 2009年度(平成21年度)から継続して登録があり、応募時点でウッドバッジ研修所(BS課程またはVS課程が望ましい)修了以上の指導者研修歴を持つ者
- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力がある者
- ④ 日常会話以上の英語力(英検2級程度以上)を有する者(配属SCで全指導者が毎日英語で行われる役務別打合会に出席し、日本隊に連絡する必要があるため)
- ⑤ 派遣団・隊指導者としての役務を果たし、またスカウトを指導するに適した経験と人柄を有する者

(3) 国際サービスチーム員 (IST)

- ① 1993年(平成5年)7月24日以前に生まれた(大会開催時に満18歳以上の)指導者またはローバー・ベンチャースカウト(国際サービスチーム員は、大会開催時に27歳以下が望ましく、英語またはフランス語で業務ができる者)
- ② 2009年度(平成21年度)から継続して登録があり、応募時点でウッドバッジ研修所修了以上の指導者研修歴を持つ者(ベンチャースカウトを除く)
ただし、22WSJで活用できる特技により応募するときは、特に認められればウッドバッジ研修所修了を必要としない(ベンチャースカウトはこの応募となる)
- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、国際サービスチーム員の業務を担当するに適した語学力・技能・経験と人柄を有する者

派遣団の編成：

- ① 派遣団本部員は、日本派遣団参加隊へのサポートと派遣団提供プログラムを担当する本部員その他、23WSJ日本開催のプロモーション要員等が加わるため、大会規定による本部員人数枠を考慮し、22WSJ派遣実行委員会および23WSJ関係組織による目的に沿った人選を行い、日本連盟が本部員を委嘱する。(一般公募は行わない)
- ② 日本派遣団は、派遣団本部員(30人以内)、国際サービスチーム員(80人)、および参加隊30隊(1隊40人、計1200人)による編成を予定するが、隊編成については県連盟が推薦するスカウト数と地域性を考慮した調整を行うため、参加隊数の増減がある。
- ③ 参加隊は、1隊あたり隊指導者4人(隊長1人、副長3人)およびスカウト36人(1班9人×4班)で、可能な限り同一県連盟あるいは近隣の県連盟のスカウトにより構成する。
- ④ 女子スカウトが参加する場合は、所属隊に女性指導者を配置する。
- ⑤ 県連盟別スカウト数は、県連盟からのスカウト割当希望予備調査数を参考にし、実際の推薦数により調整を行う。
- ⑥ 参加隊指導者と国際サービスチーム員は、一部指導者を指名する他は、一般公募により選考を行う。
- ⑦ 国際サービスチーム員については、大会ウェブサイトでは仮申込が行えるが、主催者から各国スカウト連盟に対し、選考結果の確認がなされるので、本募集要項に基づく応募手続きを行い、日本派遣団員として内定されなければ参加できない。内定者は日本連盟を通じて大会参加申込手続きを行うので、ウェブサイトでは直接申し込む必要はない。
- ⑧ 障がいスカウト隊は編成しないが、障がいスカウトの参加は歓迎される。障がいスカウトの応募資格については、別途考慮するものとする。

参加申込み・派遣員内定：

- (1) 参加希望者は、各々の組織を通じて、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。
- (2) 県連盟は、申込者を選考(面接を含む)の上、日本連盟に平成22年6月20日までに必要な書類(指導者・スカウト別海外派遣参加申込書、健康調査書、県連盟面接結果通知書、いずれも所定の書式、各一通)を添え、推薦する。
- (3) 県連盟から日本連盟に推薦する人数は制限しない。ただし、2人以上を推薦する県連盟においては、**応募区分別**に県連盟の推薦順位をつける。
- (4) スカウトについては、日本連盟は県連盟の推薦を尊重し、県連盟から提出される「面接結果通知書」に基づき書類選考を行い、平成22年7月にスカウトの派遣員内定を行う。指導者、ローバースカウトについては、別途選考を行う。
- (5) 国際サービスチーム員への応募者は、(2)に示す必要書類に加え、「特技」(得意分野を含む)と「語学力」を示す文書(書式自由)を添付する。

予納金：

派遣員内定者は、参加者負担金のうち予納金15万円を平成22年8月20日までに所属県連盟を通じて納入する。予納金は、大会参加費約9万円3千円と大会前後の各種手配費の一部に充当される。

日本連盟は、予納金から大会参加費を平成22年9月末日までにスウェーデン連盟に送金する。これにより大会参加費が5%減額され、最終的な参加者負担金に反映される。

一端納入された予納金は、内定辞退があっても返金されないが、交替は別に定める期日まで認められる。

準備訓練：

派遣内定者は、平成22年10月以降に日本連盟の行う準備訓練に参加しなければならない。

派遣員の内定と任命：

日本連盟は、派遣内定者が準備訓練（隊・班訓練を含む）を終え、所定の手続きを完了した後に派遣員として任命する。

派遣員内定者は必要な予防接種（アレルギー等の事情がある場合を除く）を受けなければならない。また、参加隊指導者、国際サービスチーム員、派遣団本部員は、出発前にスウェーデン連盟が提供するチャイルドプロテクション（子どもの権利保護）に関する研修プログラムを修了しなければならない。

以 上